

# 四種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・ポリオ・破傷風） 予防接種を受けられる人へ（四種混合予防接種説明書）

定期予防接種は、音更町に住民票がある人が対象です。

ただし、長期間の里帰りや、疾病などで町の指定医療機関以外で接種する必要がある場合は、事前に保健センターにお問い合わせください。

## 1 病気について

### ジフテリア

ジフテリア菌の飛沫感染でおこります。感染しても10%程度の人に症状がでるだけで、残りの人は不顕性感染のため、保菌者となり、その人を通じて感染する事があります。症状は、高熱、のどの痛み、犬吠様の咳、嘔吐などで、重症になると呼吸困難や神経麻痺、心筋症をおこし、命をおとすこともあります。

### 百日咳

百日咳菌の飛沫感染でおこります。普通のかぜのような症状で始まり続いて咳がひどくなり、顔を真っ赤にして、連続的に咳こむようになります。咳のあと急に息を吸い込むので笛をふくような音が出ます。熱は通常出ません。乳幼児は咳で呼吸ができず、くちびるが青くなったり（チアノーゼ）、けいれんがおきる場合があります。

### 破傷風

破傷風菌は土の中に潜んでいて傷口から人の体内に入ることによって感染します。菌が体の中で増えると、菌の出す毒素のために口が開かなくなったり、けいれんをおこしたり、治療が遅れると命をおとすこともあります。

### ポリオ

ポリオウイルスは人から人へと感染します。感染した人の便中に排泄されたウイルスは口から入り、咽頭や小腸の細胞で増殖します。ほとんどの場合は感染しても症状が出ず、一生抵抗力（終生免疫）が得られます。症状が出る場合、かぜ様の症状（発熱・頭痛・嘔吐）があらわれ、ウイルスが血液を介して脳・脊髄へ感染が広まり、麻痺をおこす場合があります。

## 2 接種対象年齢

生後2か月から90か月に至るまでの間

## 3 接種間隔及び回数

- ・ I期初回：20日以上、標準的には20日から56日までの間隔をおいて3回接種
- ・ I期追加：I期初回接種（3回）終了後6か月以上、標準的には12か月から18か月の間に1回接種

## 4 副反応

主な副反応として注射部位の発赤、しこり、腫脹などがあり、注射部位以外の副反応として発熱、気分変化、下痢、鼻水、咳、発しん、食欲減退、咽頭発赤、嘔吐などがあります。また、極めてまれにショック、アナフィラキシー様症状（接種後30分以内に出現する呼吸困難や重いアレルギー反応のこと）、血小板減少性紫斑病、脳症、けいれんなどがみとめられます。

## 5 予防接種による健康被害救済制度について

- 定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残す等の健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。
- 健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額で支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了するまたは障害が治癒する期間まで支給されます。
- ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因(予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等)によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

※給付申請の必要性が生じた場合には、診察した医師、保健センターへご相談ください。

## 6 予防接種を受けることができない人

- (1) 明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)のある人
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- (3) 予防接種に含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたりしたことのある人
- (4) 予防接種を受けようとする病気に既にかかったことがある人、又は、現在かかっている人
- (5) その他、医師が不適當と判断した場合

## 7 予防接種を受けるに際しお医者さんとよく相談しなくてはならない人

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有する人
- (2) かぜなどのひきはじめと思われる人
- (3) 過去の予防接種で、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーを思わす異常が見られた人
- (4) 薬の投与を受けて皮膚に発疹が出たり、身体に異常をきたしたことがある人
- (5) 今までにけいれんをおこしたことがある人  
けいれんのおこった年齢、その時の発熱の有無、その後おこっているか、受けるワクチンの種類は何かで条件が異なります。必ずかかりつけの先生と事前によく相談しましょう。原因がはっきりしている場合には、一定期間たてば接種できます。
- (6) 過去に免疫不全の診断がなされている人及び先天性免疫不全症の近親者がいる人
- (7) このワクチンに対してアレルギーをおこすおそれのある人
- (8) 家族・遊び友達の間で、はしか、風しん、おたふくかぜ、水ぼうそうなどの病気が流行している時で、予防接種をうける本人がその病気にかかっていない人

## 8 予防接種を受けた後の注意事項

- (1) 接種後30分間は急な副反応がおこることがあるため、お子さんの様子を観察しましょう。
- (2) 接種後1週間は体調に注意しましょう。副反応の症状が強い場合やひきつけ等ありましたら病院を受診して、保健センターに連絡してください。
- (3) 接種当日はいつものとおりの生活をして、激しい運動は避けましょう。接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないようにしましょう。

不明なことがありましたら、保健センターにお問い合わせください。

(電話 42-2712)